

最優秀賞に 深田奈瑞さん

全国合同建築卒業設計展

建築を学ぶ学生による実行委員会（中里翔太代表）が主催する全国合同建築卒業設計展「卒、（そつてん）19」が2月21～24日に、東京都墨田区の隅田公園リバーサイドギャラリーで開かれた。総合資格（岸隆司社長）の特別協賛により実施している。講評会の審査では、最優秀賞に、東京理科



最優秀賞を受賞した深田さんと作品

大学工学部の深田奈瑞さんの作品「町を擁（まもり）、

自然を擁（いだ）く。」が選ばれた。

本年度のコンセプトは「轍（わだち）×プリズム」。さまざまな意見が屈折して生まれる議論から、目には見えない波長を生み出すプリズムのように、今まで見えなかった何かを映し出すことを意図した。

深田さんは、土砂災害警戒区域に囲まれた避難所をテーマに作品を制作した。防災のための擁壁が連なっており、擁壁が巻き上がった

た塔を中央部に配置することで、住民の視線を集め、防災への意識を高めるとした。深田さんは、「いろいろな人の作品を見て、得るものが多かった。その中で評価されてうれしい」と受賞の喜びを語った。

同展は、関東を中心に建築を学ぶ学生の有志が実行委員会を立ち上げて、企画・運営を行っている。毎年実施しており、今回で16年目となる。

に工の合格者は808人（前年度1099人）。全国10地区10会場で試験を実施し、2251人（2928人）が受験した。合格率は35.9%（37.5%）。合格者の男女比率は男性85.6%（87.9%）、女性14.4%（12.1%）だった。

実地試験は受験者が3458人（3387人）、合格者が1313人（1人）、合格率は38%（36.7%）。実地合格者の男女比率は男性6%（82.6%）、女性4%（17.4%）だった。合格者には合格通知を送付する。同センター、土交通省各地方整備局に合格者の受験番号、送付する。同センターホームページ（http://www.jctc.jp/）でも公表する。

2019年3月6日

日刊建設工業新聞



発生している
重点対策を
東建労務安全セミナー

建設業協会（東建、生会長）は5日、東代田区の富士ソフトプラザで労務安全セミナーを開いた。写真。東設業保証との共催。

労働安全衛生総合研究所の高木元也建設安全研究グループ部長が建設現場で繰り返し発生する労働災害の防止やヒューマンエラーをテーマに講演した。会員企業などから44人が参加した。高木氏は、建設業の死亡災害データを基に「建設現場で発生している多くは同じ災害だ」と指摘。その上で「繰り返し発生している災害を重点的に対策していくことが再発防止で効果的ではないか」と強調した。ヒューマンエラーの原因と

平成の歩み 11

2010

滑走路や新国際線ターミナル供用開始
民主党が大敗し「ねじれ国会」に
産業戦略会議始動。再生策など検討

田状況の改善に向け 前年12月に政府

公共工事発注減
地域業界の不安強まる

民主党政権下で公共事業への抑制圧力、地方業者の危機感が一気に高まった（2010年10月4日）

「地域を支える気概薄れ」との指摘